

キッズ☆スポコンひろば

令和3年8月6日発行

テーマ「見守る」

第3号・第4号では「見守る」をテーマに、スーパーキッズ保護者の方から御寄稿いただきましたので、紹介いたします。



新型コロナウイルスによる生活の制限がここまで続くとは予想できませんでした。「仕方がないね。」「残念だよね。」と寄り添い励ましてきた言葉の力も弱まり、落胆の気持ちを感じ始めていました。

やり場のない状況の中、いわてスーパーキッズの活動はオアシスの場となっています。子供達は水を得た魚のように輝き、思う存分体を動かせる喜びが弾けています。スーパーキッズに選出していただいたことへの感謝の気持ちが、改めていっぱいになりました。

選出していただいたことで経験できたスポーツとの出会いもあり、その魅力と体験内容の充実さには驚くばかりです。毎回、県内トップレベルの指導者の方々から、県内各地のトップレベルのスポーツ施設で御指導をしていただけることに感謝しており、親子の楽しみとなっております。

また、栄養日誌の取り組みを通じて、食事を作る側としても食材選びから工夫するようになり、気が付くと、健康家族となりました。免疫力高めで乗り切りたいこの時期の意識づけとして、貴重な機会となりました。

キッズの仲間からも、ケガにより十分な活動が困難でも、頑張っ出席し、何かを得ようとする姿、苦手と感じる競技でも克服しようと勇気を振り絞る姿、追いつき追い越したい記録との戦いに向かう姿勢など、多くの刺激を頂き感謝しています。

スーパーキッズの活動を通じて、未だ先の見えないコロナ禍でも「大丈夫！今日一日を大切にしよう！」と明るい言葉が伝えられるようになっており、見守ることで元気をもらっているのは、むしろ親のほうであることに気づきました。

大好きなスポーツを心から楽しみ、それを軸に人生を豊かに広げてほしい。その先にアスリートとして全国から世界へと羽ばたき光を放つその時まで、これからも同じ歩幅でともに歩んでいきます。

輝け！いわてスーパーキッズ！みんなを沢山の人が見守っています。（6年生 M・Yさん 保護者）

今はまだ「できること、できないこと」を自分の思いだけではコントロールできない世の中ですが、だからこそ、「できること」に感謝をしながら、焦らずに、明るく、前向きに活動していきたいですね。

夢や目標に向かって、頑張るキッズをみなさんで見守っていきましょう！

また、平素より、新型コロナウイルス感染症対策を講じての活動に御協力をいただき感謝申し上げます。キッズのみなさんが安心してプログラムに参加できるよう、引き続き、感染症対策を徹底してまいりますので、御協力よろしく願いいたします。

次回(4号)も「見守る」をテーマに発信していきます。どうぞお楽しみに！

<担当>

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員
スポーツ・コンプライアンス・オフィサー
猿舘 祐子